

5. 教職課程の履修について

1 免許状の種類

本学音楽学部において取得できる教育職員免許状は次のとおりである。

- (1) 幼稚園教諭一種免許状
〔原則として、音楽文化学科幼児音楽教育専修のみ〕
- (2) 中学校教諭一種免許状（音楽）
- (3) 高等学校教諭一種免許状（音楽）

2 履修方法

- (1) 免許状を取得しようとする者は、免許状の種類に応じ、表1にかかげる基礎資格をそなえ、かつ最低修得単位数を満たさなければならない。
○幼稚園教諭一種免許

表2および表4

○中学校一種・高等学校一種免許

表3および表5

- (2) 上記の他に、免許法施行規則第66条の6に定める次の科目を修得する必要がある。
 - ①日本国憲法 2単位
 - ②体育 2単位
 - ③外国語コミュニケーション 2単位
 - ④数理データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位
- (3) 中学校の教員免許状を取得するためには「介護等の体験」が必要となっている。

〈表1〉免許状取得に必要な基礎資料および最低修得単位数

教 育 職 員 免 許 状 の 種 類	基礎資格	最低修得単位数		
		領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
幼 稚 園 教 諭 一 種 免 許 状	学士の学位を有すること。(注)	16	21	14

教 育 職 員 免 許 状 の 種 類	基礎資格	最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	学士の学位を有すること。(注)	28	27	4
高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状		24	23	12

注「学士の学位を有すること」には、文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認めた場合を含むものとする。

〈表2〉領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分等	領域に関する 専門的事項	保育内容の指導法に関する科目
音楽文化学科 幼児音楽教育専修 本学授業科目	☐ 幼児と健康 ☐ 幼児と人間関係 ☐ 幼児と環境 ☐ 幼児と言葉 ☐ 幼児と音楽表現 ☐ 幼児と造形表現	☐ 保育内容の指導法(健康) ☐ 保育内容の指導法(人間関係) ☐ 保育内容の指導法(環境) ☐ 保育内容の指導法(言葉) ☐ 保育内容の指導法(表現) ☐ モンテッソーリ指導法Ⅰ ☐ モンテッソーリ指導法Ⅱ

○印は必修

〈表3〉教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則に定める科目区分等							各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)
	教科に関する専門的事項							
	ソルフェージュ	声楽 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	指揮法	音楽理論・作曲法(編曲法を含む。・音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。))			
本学授業科目 音楽文化学科	ソルフェージュⅠ ソルフェージュⅡ	○声楽(音文教職) 女声合唱 混声合唱 } *注1	○器楽(音文教職)	合唱指揮法 } *注3 吹奏楽指揮法 }	音楽理論Ⅰ	宗教音楽Ⅰ	○作曲(音文教職)	○音楽科教育法Ⅰ ○音楽科教育法Ⅱ ○音楽科教育法Ⅲ ○音楽科教育法Ⅳ
					音楽理論Ⅱ	宗教音楽Ⅱ		
					和声学Ⅰ 和声学Ⅱ 対位法 楽曲分析Ⅰ 楽曲分析Ⅱ 管弦楽法 スコア・リーディング	音楽史Ⅰ 音楽史Ⅱ 音楽史Ⅲ 音楽史Ⅳ		
本学授業科目 演奏学科	ソルフェージュⅠ ソルフェージュⅡ	○声楽(演奏教職) 女声合唱研究 混声合唱研究 } *注2	○器楽(演奏教職)	合唱指揮法研究 } *注4 吹奏楽指揮法研究 }	音楽理論Ⅰ	宗教音楽Ⅰ	○作曲(演奏教職)	○音楽科教育法Ⅰ ○音楽科教育法Ⅱ ○音楽科教育法Ⅲ ○音楽科教育法Ⅳ
					音楽理論Ⅱ	宗教音楽Ⅱ		
					和声学Ⅰ 和声学Ⅱ 対位法 楽曲分析Ⅰ 楽曲分析Ⅱ 管弦楽法 スコア・リーディング	音楽史Ⅰ 音楽史Ⅱ 音楽史Ⅲ 音楽史Ⅳ		

○印は教職必修

網掛け は一般的包括的内容を含む科目

*注1 女声合唱及び混声合唱から4単位選択必修

*注2 女声合唱研究及び混声合唱研究から4単位選択必修

*注3 合唱指揮法及び吹奏楽指揮法から1科目選択必修

*注4 合唱指揮法研究及び吹奏楽指揮法研究から1科目選択必修

〈表4〉幼稚園教諭一種免許状・教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等		最低修得 単位数	左記に対応する本学開設授業科目			
科 目	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	幼児教育原理	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		保育史	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教育史 *		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教師論	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		(「幼児教育原理」に含む。)			
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		発達心理学	2		
			教育心理学 *		2	
				特別支援教育概論	1	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	幼児教育課程論	2		
	幼児理解の理論及び方法		幼児教育方法論	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		育児支援と指導法 *		2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		幼児教育の方法と技術	2		
教育実践に関する科目	教育実習	7	幼児理解と保育相談	2		
	教職実践演習		教育実習事前事後指導(幼) 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼)	5		
			教職実践演習(幼)	2		
大学が独自に設定する科目			小児保健	2		

*印より2科目選択必修

〈表5〉中学校・高等学校一種免許状(音楽)・教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等		最低修得 単位数	左記に対応する本学開設授業科目		
科 目	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。)		教育史	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教師論	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育心理学	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		発達心理学		2
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育概論	1	
			(「教育原理」に含む。)		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	教育課程論	2	
	総合的な学習の時間の指導法／総合的な探究の時間の指導法		道徳教育の理論と実践	2	
	特別活動の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1	
	教育の方法及び技術		特別活動の指導法	1	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用含む)	2	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)				
教育実践に関する科目	教育実習	7	教育実習事前事後指導(中・高) 教育実習Ⅰ(中・高) 教育実習Ⅱ(中・高)	5	
	教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	

音楽文化学科幼児音楽教育専修 教員免許状取得に関する科目

保育内容の指導法に関する科目（幼稚園教諭一種免許）

授業科目	担当者	週時数	履修年次・単位数				必修 単位数	開講時期・備考	授業科目 番号
			I	II	III	IV			
保育内容の指導法(健康)	村 上 智 子	2		2			2	後	E-2-05
保育内容の指導法(人間関係)	井 筒 敦 子	2		2			2	前	E-2-06
保育内容の指導法(環境)	中 丸 創	2			2		2	前	E-2-07
保育内容の指導法(言葉)	明 尾 香 澄	2		2			2	後	E-2-08
保育内容の指導法(表現)	藤 尾 かの子	2			2		2	前	E-3-05
モンテッソーリ指導法Ⅰ	鳥 田 美 城	2			2		2	前	E-2-09
モンテッソーリ指導法Ⅱ	藤 尾 かの子	2			2		2	後	E-3-06

■ は本年度非開講科目を表す。

教育の基礎的理解に関する科目等（幼稚園教諭一種免許）

授業科目	担当者	週時数	履修年次・単位数				必修 単位数	開講時期・備考	授業科目 番号
			I	II	III	IV			
教 師 論	川 野・福 原	2	(2)					後 教職必修	T-3-02
幼 児 教 育 原 理	鳥 田 美 城	2	2				2	前	E-1-07
保 育 史	三 村 真 弓	2		2			2	後	E-2-12
教 育 史	川 野 祐 二	2			(2)			後	T-3-02
発 達 心 理 学	岡 野 泰 子	2		2			2	後	E-1-08
教 育 心 理 学	岡 野 泰 子	2			(2)			前	T-3-04
特 別 支 援 教 育 概 論	七木田 方 美	1		(1)				前	T-3-05
幼 児 教 育 課 程 論	三 村 真 弓	2	2				2	後	E-1-09
幼 児 教 育 方 法 論	鳥 田 美 城	2			2		2	前	E-2-13
育 児 支 援 と 指 導 法	井 筒 敦 子	2			(2)			後	E-3-11
幼児教育の方法と技術	三 村 真 弓	2			2		2	後	E-3-12
幼児理解と保育相談	井 筒 敦 子	2			2		2	後	E-3-13
教育実習事前事後指導(幼)	鳥田・三村・藤尾・井筒・明尾	1			(1)			教職必修	E-4-04
教 育 実 習 Ⅰ (幼)	鳥田・三村・藤尾・井筒・明尾	2			(2)			教職必修	E-3-14
教 育 実 習 Ⅱ (幼)	鳥田・三村・藤尾・井筒・明尾	2				(2)		教職必修	E-4-05
教 職 実 践 演 習 (幼)	鳥田・三村・藤尾・井筒・明尾	2				(2)		後 教職必修	E-4-06

■ は本年度非開講科目を表す。

音楽文化学科音楽文化専修・演奏学科 教員免許状取得に関する科目

教育の基礎的理解に関する科目等（中学校・高等学校教諭一種免許）

授業科目	担当者	週時数	履修年次・単位数				必修 単位数	開講時期・備考	授業科目 番号
			I	II	III	IV			
教 師 論	川 野・福 原	2	(2)					後 教職必修	T-3-03
教 育 原 理	鳥 田 美 城	2			(2)			後 教職必修	T-3-01
教 育 史	川 野 祐 二	2			(2)			後 教職必修	T-3-02
教 育 心 理 学	岡 野 泰 子	2		(2)				前 教職必修	T-3-04
発 達 心 理 学	岡 野 泰 子	2		(2)				後	E-1-08
特 別 支 援 教 育 概 論	七木田 方 美	1		(1)				前 教職必修	T-3-05
教 育 課 程 論	三 村 真 弓	2		(2)				前 教職必修	T-3-06
道德教育の理論と実践	胤 森 裕 暢	2			(2)			後 教職必修	T-3-07
総合的な学習の時間の指導法	上之園 公 子	1			(1)			後 教職必修	T-3-08
特 別 活 動 の 指 導 法	上之園 公 子	1			(1)			前 教職必修	T-3-09
教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	伊 藤 真	2		(2)				後 教職必修	T-3-10
生徒・進路指導論	小 松 葉 子	2			(2)			前 教職必修	T-3-11
教 育 相 談	岡 野 泰 子	2				(2)		前 教職必修	T-3-12
教育実習事前事後指導(中・高)	小 松 ・ 福 原	1			(1)			教職必修	T-3-13
教 育 実 習 Ⅰ (中 ・ 高)	小 松 ・ 福 原	2				(2)		教職必修	T-3-14
教 育 実 習 Ⅱ (中 ・ 高)	小 松 ・ 福 原	2				(2)		教職必修	T-3-15
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	小 松 ・ 福 原	2				(2)		後 教職必修	T-3-16

■ は本年度非開講科目を表す。

教科の指導法に関する科目（中学校・高等学校教諭一種免許）

授業科目	担当者	週時数	履修年次・単位数				必修 単位数	開講時期・備考	授業科目 番号
			I	II	III	IV			
音 楽 科 教 育 法 Ⅰ	福 原 之 織	2		(2)				後 教職必修	T-3-17
音 楽 科 教 育 法 Ⅱ	小 松 ・ 古 土 井	2			(2)			前 教職必修	T-3-18
音 楽 科 教 育 法 Ⅲ	三 村 真 弓	2			(2)			後 教職必修	T-3-19
音 楽 科 教 育 法 Ⅳ	小 松 ・ 福 原	2				(2)		前 教職必修	T-3-20

■ は本年度非開講科目を表す。